NIE実践報告

1．タイトル：☆株式学習ゲーム

2．学校名

北海道北見市立小泉中学校

3．実践者名（代表者名）

山崎健太郎

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会（選択社会・発展）　14人

6．単元（本時の学習課題）名

「社会の動きに関心を持とう」

7．目標(狙い)

株式学習ゲームを通して、社会への関心を高めると同時に、多面的な思考力・判断力を育てる。

8．評価の視点

・株価を巡る社会の動きに関心を持つことができたか。
・株式の購入にあたり、投資理由をしっかりと考えることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「株式学習ゲーム」（選択社会・発展：7時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「株式学習ゲーム」について、オリエンテーリング。（1時間）
②株式の売買に向けた情報収集と売買。（5時間）
③「株式学習ゲーム」のまとめ。（1時間）

（留意点）
・短期の値上がり益だけを追及して、売買益にのみ関心が行き過ぎてしまう事のないようにする。
・株式の購入に向けて、しっかりとした投資理由のための情報収集の重要性を認識させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「経済や政治への関心が高まった」「株式会社の仕組みや株式の売買の難しさがわかった」等の感想が多かった。ただ、しっかりとした投資理由を考えるのが難しかったようである。

12．成果と課題

新聞を情報源として利用したことで、普段見ることのない株価欄まで生徒が見るようになった。インターネットの膨大な情報の中から探すより、新聞という情報源の貴重さを理解していたようだ。また、生徒の社会の動きへの関心が高まった。
短期売買であるため、指導の難しさがある。